

園での野菜栽培

I 野菜栽培の基礎編

山梨県 認定こども園 かおり幼稚園
園長 鮎川 剛



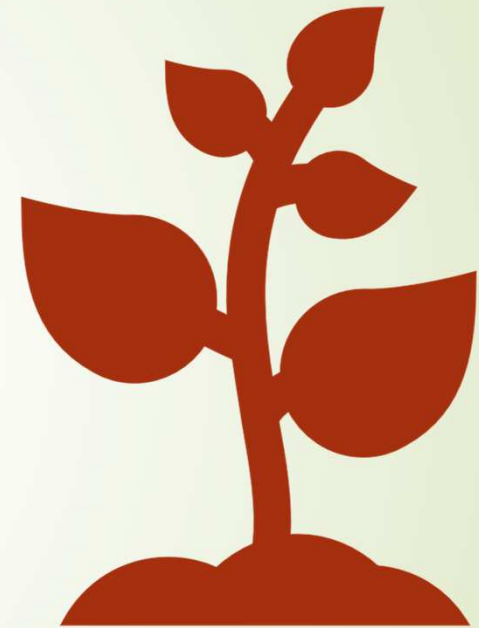


I 野菜栽培の基礎

- 野菜
- 1.園で野菜を栽培する意義
- 2.園の栽培環境について
- 3.栽培品目・収穫・栽培時期について
- 4.化成肥料・有機肥料・堆肥
- 5.土作り・連作障害
- 6.農薬
- 7.とにかくやってみよう

1.園で野菜を栽培する意義

- ▶ 子どもの野菜への興味が引き立てられる
- ▶ 自ら栽培、収穫することによって、野菜が身近な存在となり、好き嫌いが減る-----かもしれない
- ▶ 植物の様々な形態---種、発芽、生育、収穫を間近で観察しすることが出来、植物の成長の不思議さを感じることが出来る。また野菜に寄ってくる昆虫や小動物にも出会うことが出来る。
- ▶ 子どもたちと一緒に行う土いじりは楽しいものです。うまくいっても行かなくても育ててみることに意義があると思います



2.園の栽培環境について ～プランター・花壇・畑

- 野菜を栽培する環境は主に・プランター・花壇・畑などが想定されますが各々の特性を把握しておくことで栽培計画を立てやすい。

	メリット	デメリット
プランター	- 好きな場所に配置出来る - 雑草が生えない	- 水やりなど日常的な管理が必要 - 栽培できる野菜が限定される - 収量が少ない
花壇	- 園内で子どもに近いところにて栽培できる - 日々観察できる	- 雑草は生える - 園の美観上の問題
畑	- 立派な野菜が育つ - 様々な種類を栽培できる	- 日々観察が難しい - 雑草との戦い

園児に近い距離での栽培すると、園児が苗や作物を引き抜いたり、傷つけてしまったりすることは避けられないことです。園児が興味を持っているためと捉え、大切なすることを伝える機会であると考えます。

3.栽培品目の収穫について

- 栽培する野菜の収穫については、一気に収穫できる品目と収穫時期になるとほぼ毎日収穫（順次収穫）となるものがある。一気に収穫できるものは園の行事として組み込みやすい。また後者の順次収穫型は日々観察が出来るので中長期的な活動として取り組める



一気に収穫

・じゃがいも・さつまいも・スイカ・大根・レタス・たまねぎ

順次収穫

・きゅうり・なす・ピーマン・いちご・いんげん・かぶ

栽培時期について

- 野菜の栽培にはその野菜の適した時期があり、その時期を知った上で計画的に取り組まないと栽培はうまくいかない。
- 野菜の栽培時期（栽培適期）はその地域の気候に寄るところが大きい、国内においては・冷涼地・中間地・温暖地などに大まかな区分がある
- 地域の方に栽培時期を教えてもらう



主な野菜の栽培時期（中間地）

品目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
じゃがいも	→	→	→	→							
ニンジン		→	→	→		→	→	→			
小松菜・かぶ	→	→	→				→	→			
ピーマン/パプリカ			→	→	→	→	→				
なす			→	→	→	→	→	→			
きゅうり			→	→	→	→	→				
スイカ			→	→	→	→					
オクラ			→	→	→	→	→	→			
さつまいも			→	→	→	→	→	→			
ダイコン							→	→	→		
そらまめ	→	→	→						越冬	→	→
キャベツ	→	→	→			秋キャベツ	→	→	→	→	→
いちご	→	→	→				春キャベツ	→	越冬	→	→

4.化成肥料・有機肥料・堆肥

- 化成肥料（化学的に合成された肥料）
 - 速効性がある。効果が持続しにくい。扱いやすい。
 - 成分が強すぎると作物を痛める。その一方で弱すぎると効果がない。どの場面でも使える「化成8-8-8」を推奨します
- 有機肥料（主に天然成分で作られた肥料）
 - 緩効性で効果が持続する。取り扱いが難しい
- 堆肥・石灰
 - 堆肥：土を軟らかくして植物の根の張りをよくする効果がある。腐葉土や牛糞堆肥など。
 - 石灰：酸性の土壌を中和する。扱いやすい「苦土石灰」を推奨します。



5.土作り・連作障害

- 毎年同じ場所で同じものを作り続けると栽培がうまくいかないことがある。これを連作障害といい、せっかく植えたのに枯れてしまったり、ほとんど成長しなかったりする。また、じゃがいも、ナス、ピーマン、トマトはどれもナス科の野菜であり、例えばじゃがいもの後にナスを植えると連作障害を受ける可能性がある。
- 連作障害を受けやすいもの・受けにくいもの

連作障害を受けやすい	連作しても問題無い
ナス科（じゃがいも、ナス、ピーマンなど） ウリ科（キュウリ、スイカ、メロン） マメ科（エンドウ豆、ソラマメ、いんげん） アブラナ科（白菜、小松菜、カブ、キャベツ）	トウモロコシ、 たまねぎ、 ダイコン、 サツマイモ

ふかふか・ふわふわな土を作ろう

- 野菜の根が張るのに適した土が「ふかふか・ふわふわ」な土です
- 堆肥等を施し、土をよく耕す。
- 水はけを良くし、排水を取る--水につかっている時間が長ければ長いほど土は硬くなります。



6.農薬について

- 園での栽培にあたっては、出来れば農薬は使いたくはないが、農薬がないと無収穫になってしまうものもある。
- 農薬には主に3種類ある
 - ・殺虫剤--害虫駆除
 - ・殺菌剤—病気の予防・治療
 - ・除草剤---雑草の防除
- 病気に強い品種を選ぶと殺菌剤散布しなくて良い場合がある

農薬を使わなくても栽培可

じゃがいも・サツマイモ・きゅうり・なす・ピーマン・すいか・レタス・たまねぎ

農薬が無いと難しい

大根・白菜・キャベツ・トウモロコシ・カブ

7.とにかくやってみよう

- 草だらけになることもある
- 水を忘れて枯らすこともある
- 子どもに苗を引き抜かれることもある
- 虫に食い荒らされることもある
- それでもたまにうまくいくこともある
- 子どもたちと楽しい菜園生活を始めてみませんか

